

2000年度 Block. 5

課題 No. 3

「頭痛の上原さん」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。

T. W. M. U
<課題番号> 2000-B5-3
<課題名> 頭痛の上原さん

課題シート1

37歳の建設会社に勤務する男性、3週間前に咳、微熱、頭痛が出現、近医より風邪薬を処方されていた。1週間前より頭痛が激しくなり、嘔気、嘔吐も出現したので来院した。

【抽出を期待する事項】

气道感染症

頭痛の分類

髓膜炎

U . M . W . T
8-28-0002 <号審議題>
ひち東土の激頭 <号選題>

T. W. M. U
<課題番号> 2000-B5-3
<課題名> 頭痛の上原さん

課題シート 2

身体所見は意識清明、身長175cm、体重60kg、体温37.2°C、脈拍80、呼吸数18/分、血圧130/84mmHg、項部硬直(+)、Kernig微候(+)、咽頭所見は資料1に示す。両腋窩に1cm大のリンパ節腫大、心雜音なし、肺にラ音を聴取せず。肝脾腫なし、下肢に隆起性の紫色皮膚病変を認める（資料2）。直腸診は異常なし。

【抽出を期待する事項】

髓膜刺激症状
口腔内カンジダ症
カポジ肉腫
リンパ節種大

(脳膜炎を疑う)
脳膜炎
炎症性脳膜炎
炎症性脳膜炎
炎症性脳膜炎
(炎症性脳膜炎を疑う)

J. M. W. T.
B-08-0002 <墨汁標本>
八九郎の頭痛 <墨汁標本>

T. W. M. U
<課題番号> 2000-B5-3
<課題名> 頭痛の上原さん

課題シート3

【脳液検査所見】(墨汁) 初圧 200mmH₂O、細胞数 68/mm³ (单核球:多核球=62:6)、蛋白 60mg/dl、糖 35mg/dl、アデノシンデアミネース(ADA)正常範囲、墨汁標本(資料3)。

【抽出を期待する事項】

髄膜炎の鑑別
結核性髄膜炎
真菌性髄膜炎
(クリプトコッカス髄膜炎)

【直射光下で背景を抽出】

右面部に紅斑
左側頭部に皮疹
頭皮に発赤
大脳表面に発赤

U.M.W.T
E-28-000S <号番顕微鏡>
ひち頭上の顕微鏡 <顕微鏡>

T. W. M. U
<課題番号> 2000-B5-3
<課題名> 頭痛の上原さん

課題シート4

検査所見

Hb 12.5g/dl、RBC $365 \times 10^4/\text{mm}^3$ 、Ht 32.8%、WBC $3800/\text{mm}^3$ (stab 14%、seg 57%、baso 2%、eosino 1%、mono 7%、ly 19%) PLT $120000/\text{mm}^3$ 、Ret 0.1% TP 6.1g/dl(alb 50%、 α_1 4%、 α_2 7%、 β 8%、 γ 31%)、AST 23IU/l、ALT 19IU/l、LD 530IU/l、T.Bil 0.8mg/dl、Cr 1.1mg/dl、BUN 23mg/dl、UA 5.7mg/dl、Na 140mEq/l、K 3.6mEq/l、Cl 102.7mEq/l、Glu 87mg/dl、CRP 7mg/dl、ESR 45mm/h、トリヨードサイロニン(T3)、サイロキシン(T4)正常範囲内、carcinoembryonic antigen(CEA) 1.5ng/ml、白苔培養でカシジダ陽性、ECG異常なし。CD4/CD8 0.34、ツベルクリン反応2x3mm。

【抽出を期待する事項】

炎症反応
正球性貧血
リンパ球減少
高γグロブリン血症
細胞性免疫不全

U. M. W. T
8-20-0002 <8番頭顱>
人ら脳とや頭顱 <骨膜顱>

T. W. M. U
<課題番号> 2000-B5-3
<課題名> 頭痛の上原さん

課題シート 5

レポート用紙

入院後経過

入院後アムホテリシンBとフルシトシンの治療にて頭痛は軽快していたが、乾性の咳嗽と呼吸困難を来たし、胸部レントゲン写真（資料4）、CT所見（資料5）にて異常陰影を示した。動脈血ガス分析所見では P_{O_2} 40torr、 P_{CO_2} 35torr、pH 7.38 であった。気管支鏡検査が行われ、気管支肺胞洗浄液中にグロコット染色に染まる病原体を認めた（資料6）。患者の了解を得ずに行われたHIV抗体検査が陽性であった。その後、患者はAIDSの告知を受け、治療について話を聞いた。

【抽出を期待する事項】

間質性肺炎

ニューモシスチス・カリニ肺炎

インフォームドコンセント

告知

【東京大学病院予出典】